

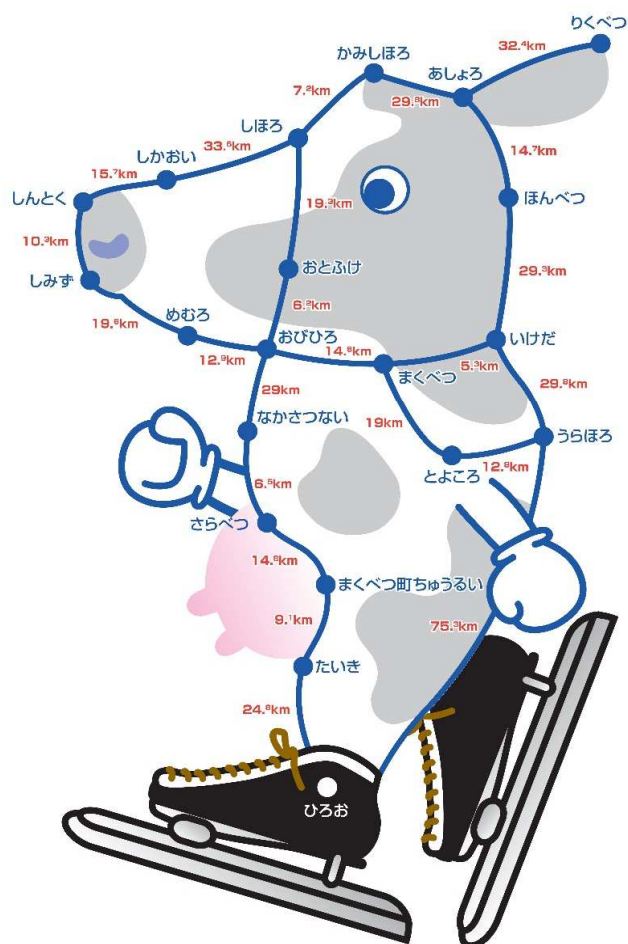
十勝に住み続けている 若い皆様へ
 十勝を一旦離れている 若い皆様へ
 管外居住で今後十勝で働きたい 若い皆様へ



十勝創生推進宣言 2018

《十勝に住み続ける・戻る・移り住む用意をしてみてください！》

とがち



乳用牛（22.4万頭）と肉用牛（22.5万頭）、ともに飼育頭数全道一を誇る十勝を、管内を走る6つの国道を線で繋いで「牛」の地図で表しました。

その「牛」と2018平昌オリンピックで金メダルを獲得した幕別町出身の高木姉妹に代表される「スケート」を融合させ、『スケート王国・十勝』を表現しました。

※イラスト原案
大谷忠彦（帯広市在住）

平成30年5月
 十勝町村会

問合せ先 十勝町村会事務局
 住所 北海道帯広市東3条南3丁目 十勝合同庁舎 3階
 電話 0155-23-6204 Email t.chosonkai02@cmail.plala.or.jp

十勝創生推進宣言 2018

《十勝に住み続ける・戻る・移り住む用意をしてくださいます！》

(なにもないまち？)

本年2月の平昌冬季オリンピックのカーリング女子で銅メダルに輝いたL S北見チームが、地元の北見市常呂町に凱旋した際、吉田知那美選手が「正直、この町なにもないよね。小さい時は、この町にいても絶対夢はかなわないって思っていました。だけど、今は、ここにいなかったら、かなわなかったなって思ってます」と語りました。

女子スピードスケートで金メダルを獲得した十勝管内幕別町出身の高木姉妹も、スケート王国・十勝と言われる地域にあって、雪を踏み固めた小学校グラウンドに、寒い夜、親たちが水をまいては凍らせ、これを繰り返して少しずつ氷を厚くして行って作るスケートリンクでの小さい頃からの練習と競技大会、そして、平成21年に完成した屋内スピードスケート場「明治北海道十勝オーバル」がなかったなら、表彰台の一番上に立つことはかなわなかったかもしれません。

私たちは、オリンピックでの北海道出身選手の大活躍に、改めて決意しました。

“このまちにいても楽しくない、何もできないという思い”を抱かせるようなことであれば、それは、たくさんの可能性を秘めている子どもや若者たちの未来を奪うことになるのではないかと。

(十勝に住み続けてもらうために！ 十勝に戻って来てもらうために！)

私たち十勝18町村は、役場の一般行政職の採用試験を合同で実施していますが、4年前の平成26年度から人物重視の試験に変更し、「22～30歳対象」では、試験日程を3ヶ月早めて他の自治体試験と重複受験できるようにしたほか、民間の内定式よりも早く合格を発表することで十勝の役場を選んでもらえるようにしました。

試験を見直した4年間で162人を採用。このうち7割の112人が十勝出身で、さらに104人がUターン者でした。

「18～21歳」では、108人を採用し、うち104人が十勝出身でした。

この結果だけを見ても、十勝出身者は「十勝志向」が強いことが確信できます。ふるさとに住み続けてもらうため、ふるさとに戻ってきてもらうため、「その日」に備えて働き場所を創り出し採用者を増やすために、役場と農協、漁協、森林組合、企業等と一緒に考えていかなければなりません。

（十勝に移り住んでもらうために！）

平成20年から始まり、十勝19市町村の約550軒の農家に宿泊体験する、都市部高校生修学旅行での「とかち農村ホームステイ事業」は、昨年度は8校約2,400名を受け入れ、当初からの受入数は18,000人を超え、ホームステイ体験がきっかけとなり、帯広畜産大学へ進学したり、十勝で就職する生徒も出てきています。

地域おこし協力隊の参加者には、地域資源を活用した起業の中心となる人や任期を終えた後も十勝に留まるケースが少しずつ増えています。

移住促進事業に応募し、農業を手伝いながら芸術活動をしているアーティストは、町の依頼によりデッサン教室を開き好評をばくしています。

私たちは、こうした都市部からの十勝への人の流れを確かなものにしていくために、道や帯広市にも参加をいただいて、来年度から、東京都23区でつくる特別区長会と連携して、台東区・墨田区との交流連携事業を本格的にスタートさせます。都市農村交流や二地域居住、移住などにつながる人的交流のほか、東京オリンピック・パラリンピックを見据えたスポーツ交流、企業立地に繋がる取組を展開していく予定です。

おりしも、来年4月から9月まで、十勝を舞台とした、広瀬すずヒロインのNHK連続テレビ小説「夏空」が放送されます。「十勝晴れ」と呼ばれる十勝の突き抜けた青空のような、すがすがしいヒロインの生き様を描いたドラマだそうです。

住みたいまち、住み続けられるまち、夢と希望にあふれいきいきと暮らすことのできる地域社会の実現に向け、私たち十勝の町村は、北海道のトップランナーとしての自負を持って、引き続き、全力で十勝創生・北海道創生の推進に取り組むことを、ここに宣言します。

平成30年5月17日

十勝町村会 平成30年度第1回通常総会

| | |
|---------|---------|
| 音 更 町 長 | 小 野 信 次 |
| 土 幌 町 長 | 小 林 康 雄 |
| 上土幌 町 長 | 竹 中 貢 |
| 鹿 追 町 長 | 吉 田 弘 志 |
| 新 得 町 長 | 浜 田 正 利 |
| 清 水 町 長 | 阿 部 一 男 |
| 芽 室 町 長 | 宮 西 義 憲 |
| 中札内 村 長 | 森 田 匡 彦 |
| 更 別 村 長 | 西 山 猛 |
| 大 樹 町 長 | 酒 森 正 人 |
| 広 尾 町 長 | 村 瀬 優 |
| 幕 別 町 長 | 飯 田 晴 義 |
| 池 田 町 長 | 勝 井 勝 丸 |
| 豊 頃 町 長 | 宮 口 孝 |
| 本 別 町 長 | 高 橋 正 夫 |
| 足 寄 町 長 | 安久津 勝 彦 |
| 陸 別 町 長 | 野 尻 秀 隆 |
| 浦 幌 町 長 | 水 澤 一 廣 |